

# かまいし未来づくり委員会の委員を募集します

市は、令和3年度からスタートする新しい総合計画の策定に向け、準備を進めています。

総合計画は、将来、釜石市をどのような「まち」にしていくのか、そのためにだれが、どのようなことをしていくのかを、総合的・体系的にまとめたものです。福祉や防災、都市計画、環境といった市の全ての計画の基礎となるもので、今後10年間の「まちづくりを進めていくための道しるべ」です。

この総合計画の素案を市民と行政の協働で作成するための「かまいし未来づくり委員会」を設置し、その委員を募集します。

**申し込み・問い合わせ**  
市総合政策課 企画調整係  
〒026-8686 釜石市只越町3-9-13  
☎27-8413 FAX 22-2686  
✉ sougou@city.kamaishi.iwate.jp

- 応募資格** 次の両方に該当する人  
①市内に居住または勤務している人で、令和元年10月1日現在で18歳以上の人  
②月に1～2回程度の会議に継続して参加できる人  
※会議の開催は平日夜間や土曜日、日曜日など、委員会に集まりやすい日時を設定する予定です
- 募集人数** 60人程度
- 応募期限** 12月10日(火)
- 任期** 委嘱の日から令和3年3月31日(予定)
- 報酬など** 委員報酬、謝礼、交通費などは支給しません
- 応募方法** ・応募用紙に必要事項を記入の上、市総合政策課に提出してください  
・メールやFAXでの応募も受け付けます  
・応募用紙は、市総合政策課、各地区生活応援センターに備え付ける他、市のホームページからダウンロードできます



## 令和元年度後期地域会議を開催します

市からの説明内容(予定) 「令和元年度地域課題への市の対応方針」について など

日時、場所 ※時間は全て18時30分～

月	日	曜日	地域会議名	会場
11	22	金	平田地域会議	平田集会所
	25	月	みなとかまいし地区会議	青葉ビル
	26	火	栗橋地区まちづくり会議	栗橋地区基幹集落センター
	27	水	甲子地域会議	松倉地区コミュニティ消防センター
12	2	月	鶴住居地域会議	鶴住居地区生活応援センター
	3	火	唐丹地域会議	唐丹地区生活応援センター
	4	水	小佐野地域会議	小佐野コミュニティ会館
	6	金	中妻地区地域会議	中妻地区生活応援センター

※地域会議はその地区にお住まいの人であれば、どなたでも傍聴できます。直接会場にお越しください

問い合わせ 市地域づくり推進課 ☎27-8454

# 復興の完遂と、まちづくりの新たな指針づくりを共に 野田市政 4期目が始まる

野田武則市長が平成19年11月19日に釜石市長に就任してから3期12年が経過。11月3日の市長選挙告示日に無投票での再選が決まりました。東日本大震災からの復興完遂と、次期総合計画などの新たなまちづくりの指針策定に向けて、野田市長が4期目への決意を語ります。



平成19年に釜石市長に就任以来、3期12年にわたって市勢の発展に努めてまいりました。特に、平成23年の東日本大震災の発災から今日まで、市民の皆様と復興に向けて歩んでまいりました。しかし、いまだ約120世帯が仮設住宅での生活を余儀なくされている状況です。来年度は復興10年目となりますが、台風第19号被害の早期復旧と共に、被災された方の住まいの再建と1日も早い復興の完遂に全力を尽くします。

8年8カ月におよぶ復興の過程では、大型商業施設の誘致、橋野鉄鉱山の世界遺産登録、ガントリークレーンの設置、そして、ラグビーワールドカップ2019™の釜石への誘致と開催を、多くの関係者のご支援と皆様のご協力のおかげで実現することができました。

し、観光や物流面でも効果が期待されるなど、釜石を取り巻く環境も大きく変化しています。そうした中で、人口減少や少子高齢化、産業や観光の振興、保健・医療・福祉などの課題を解決しながら、時代に対応したまちづくりが求められています。まちづくりには、自分たちの持っている可能性を信じ、チャレンジし続けていかなければなりません。釜石には、その力があると信じています。

震災で犠牲になられた方の思いに添えるためにも、そして復興のためにご支援いただいた多くの方の思いに報いるためにも、不撓不屈(たふさふく)の言葉(まげまげ)を胸に、一人ひとりが夢と希望を持ち、生き生きと暮らすことのできるまちづくりにまい進します。

## 基本政策

- 復興の完遂に全力を尽くし、震災の教訓を生かします**  
仮設住宅にお住いの方の住宅再建を推進し、1日も早い復興完遂に全力を尽くします。被災者に寄り添い、コミュニティ形成の支援や心の復興に取り組みます。また、二度と同じ悲劇を繰り返さないためにも、防災市民憲章、震災の教訓や記憶を忘れることなく、防災による安全、安心なまちづくりを行います。
- 市民が主役の開かれた市政を実践します**  
地域会議をはじめ、市民と語り、声を聴く場を積極的に設け、さまざまな世代や職種の方の声を尊重し、市民が主役の開かれた市政を実践します。
- 地域格差のないケアサービスと、多世代で支え合う社会をつくりまします**  
少子高齢化と人口減少社会の中で、市内のどこに住んでも安心して暮らすために、子育てから介護まで、きめ細かなサービスを提供する地域包括ケアシステムを充実させます。また、それぞれの地域の絆と支え合いを大切にしたい社会をつくりまします。



- 産業振興を通じて、人口流出に歯止めをかけ、定住促進を図ります**  
釜石が培ってきたものづくり、水産、農林業などの地域資源を生かした産業振興に努めます。新たな雇用の場の創出や起業支援にも積極的に取り組み、住まいや子育て環境の整備も図りながら人口流出に歯止めをかけ、定住促進を図ります。
- 市民が納得する財政運営により、公共施設の維持管理に努めます**  
釜石が培ってきたものづくり、市民体育館、釜石市民ホールTETTOなどの新たに整備した施設の維持には健全な財政運営をもって当たり、それぞれの施設の価値を高めながら、市民に親しまれる施設として管理します。
- 多様につながる拠点として、先駆的なまちづくりを目指します**  
ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の成功を糧に、国内のみならず世界とつながる拠点都市として、先駆的な取り組みにも果敢に挑戦します。オープンシティ釜石の本領を発揮して交流人口の拡大を図ります。また、道路や鉄道の整備が進み、環境が変化している中、三陸沿岸地域との連携を深めていきます。